

阿蘇家保だより

令和4年（2022年）

8月号

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



炭疽について

毎年訪れる雨季・台風シーズン、畜舎内に雨水・土砂が流入した場合などに、普段は土壤中に隠れている嫌気性細菌が畜舎環境に現れ、家畜に病害をもたらす可能性があります。その**土壌菌**の代表例として**炭疽菌**が挙げられます。炭疽菌はヒトにも感染するなど、**人獣共通感染症**としても重要な疾病です。世界各国で発生が見られていますが、日本では2000年の牛での発生を最後に、現在まで発生していません。

概要

宿主	牛・水牛・馬・豚・めん羊・山羊
病原	<i>Bacillus anthracis</i>
感染様式	皮膚や粘膜の創傷部位からの経皮および経口感染
症状	急性敗血症による死亡 死亡した動物は皮下浮腫によって体全体が膨らんで 鼻孔や肛門からの出血が見られる
予防	生ワクチン



炭疽菌は伝播力が弱いため、死体を迅速に処理すれば続発を防げますが、死体の処理が適切でない場合、菌が環境中に長く残存してしまいます。

本病は**法定伝染病**に指定されているため、本病と疑われる患畜が死亡した場合、畜主、獣医師は**家畜保健衛生所への届出**をよろしくお願いします。

※その他の土壌菌によって引き起こされる疾病

破傷風（届出伝染病）

牛・馬・山羊等のすべての家畜に感染。全国で発生が見られる。全身筋肉の痙攣が起き、四肢の関節が屈曲不能になり、木馬様姿勢を呈する。病態が進むと呼吸困難で死亡。



（木馬様姿勢）

悪性水腫

牛・馬・豚・めん羊に感染し、全国的に発生が見られる。創傷部とその周囲に皮下浮腫がみられ、捻髪音（皮膚を押すとパチパチという音がする）を発する。その後呼吸困難で死亡。

※出典 動物の感染症 第三版 近代出版

農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所 家畜疾病図鑑Web

豚熱対策を引き続きよろしく申し上げます

令和4年4月以降も、関東地方を中心に豚熱発生が続いています。本年度の発生農場の概要は次のとおりです。

発生場所	発生日	飼養頭数
茨城県石岡市	2022年4月13日	約1,000頭
茨城県城里町	2022年4月15日	3,318頭
群馬県太田市	2022年4月22日	約3,000頭
群馬県桐生市	2022年5月10日	約5,500頭
群馬県桐生市	2022年6月15日	約5,000頭
栃木県那須烏山市	2022年7月23日	約56,000頭

7月23日には、過去最大となる約56,000頭を飼養している農場で豚熱の発生が報告されており、ワクチン接種農場でも発生が散発している状況です。

さらに、7月25日には徳島県徳島市で発見された死亡いのししにおいて、豚熱の感染が確認されました。今年3月以降、山口県等の中国地方で豚熱陽性の野生いのししが確認されていましたが、四国地方での確認は初となります。

本県では九州内で豚熱に感染した野生のいのししが確認され、ワクチン接種推奨地域に設定される場合に備え、飼養する豚へのワクチン接種プログラムの検討・作成等の対策を行っているところです。

関係者の方々には、引き続き、飼養衛生管理の徹底と、死亡豚の増加等の異常を発見した場合、当所への早期通報をよろしくお願いいたします。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N2	台湾	家さん	令和4年7月12日
	H5N1	ロシア	家さん	令和4年7月11日
口蹄疫(FMD)	不明	タイ(14件)	不明	令和3年
アフリカ豚熱 (ASF)		ロシア(3件) 韓国(23件)	豚 野生いのしし	令和4年6月25日 令和4年7月20日

令和4年(2022年)8月1日
現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/4/56061.html>

